**11. Deduce something you regret**

**~自分の過去の事件を推理しよう~**

○ 目的：仮定法過去完了を理解し、書き表すことができるようになる。

○ 対象：高校１年生

○　語彙：動詞の過去完了形

○ 文法：仮定法過去完了If I had + P.P. , I would/could/might have + P.P. ~ .

○ 準備：ワークシート２枚

**＜タスクの進め方＞**

○**Pre-task**

 1. 教師が作ったオリジナルストーリーを２度聞かせる。１度目は聞くのみ

２度目は聞きながらワークシートにある本文の穴埋めをしてもらう。

　2. 今回の目標文法である仮定法過去完了用法について気付かせる。

○**Task**

　1. ワークシートを配り、自分の過去の事件を思い出させ、「こうすればこうだった」と推理をさせる。

　2. Sample essayの間違いを直させ、文法に対する理解をより深める。

　3. １に沿った仮定法過去完了のshort essayを書かせる。

　4. ６人グループに分け、メンバー全員の事件の資料を集める。

　5. 全員に配り直させ、１人１人に読ませる。その際他のメンバーは探偵となりメモを取りながら誰のものか予想をしながら聞き、分かったら答える。

　6. １周回り終えたら終了。１番予想ができた生徒、１番面白かった事件などを聞く。

**＜ワンポイント・アドバイス＞**

　・アウトプットの量を増やすためにも、書かせる量は多くすると良い。

 ・ワークシートをコピーする際は穴埋めしてある部分を隠す。

**参考**：Power-on Communication English 1 東京書籍

(Hiroki)